

5 ビューティフル・ウィンドウズ運動

-
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
 - (2) 治安が改善していることの認知
 - (3) 居住地域の治安状況
 - (4) 区内の治安が良いと感じる点
 - (5) 区内の治安が悪いと感じる点
 - (6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
 - (7) 駐輪時の鍵かけ状況
-

5. ビューティフル・ウィンドウズ運動

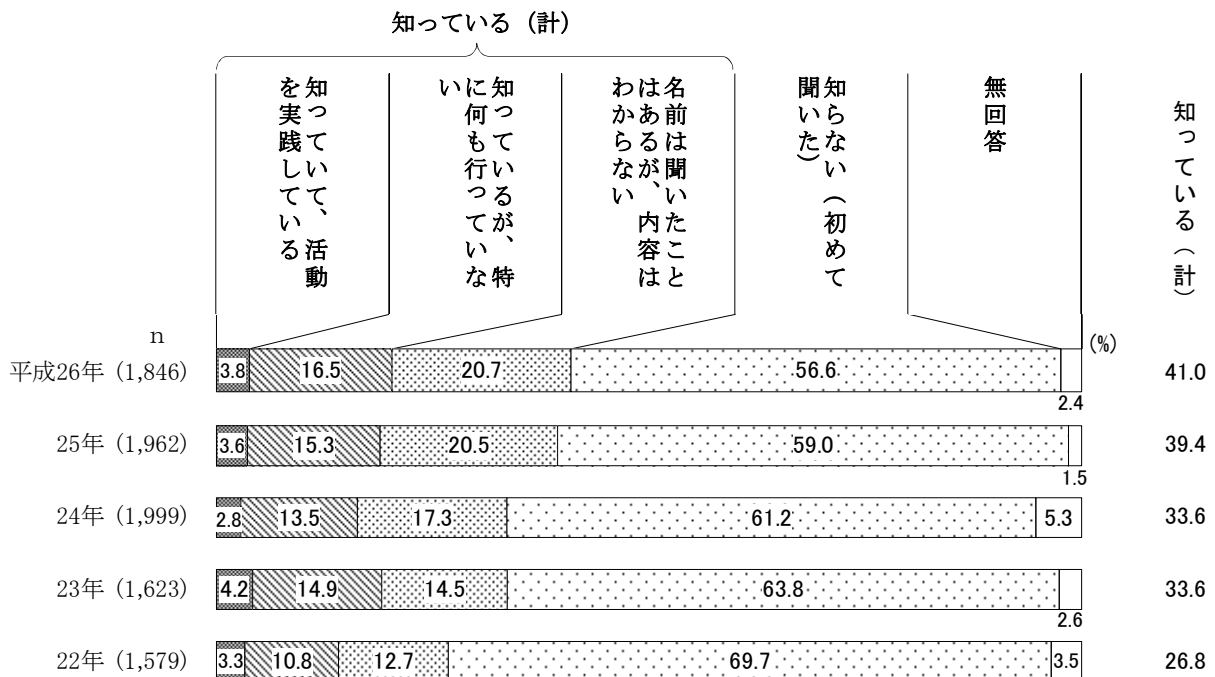
(1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】は初めて4割を超え、認知度は年々上昇している

問20 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか。（○は1つだけ）

※ 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図5-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は3.8%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」(16.5%)、「名前はあるが、内容はわからない」(20.7%)を合わせた【知っている】は41.0%となっている。

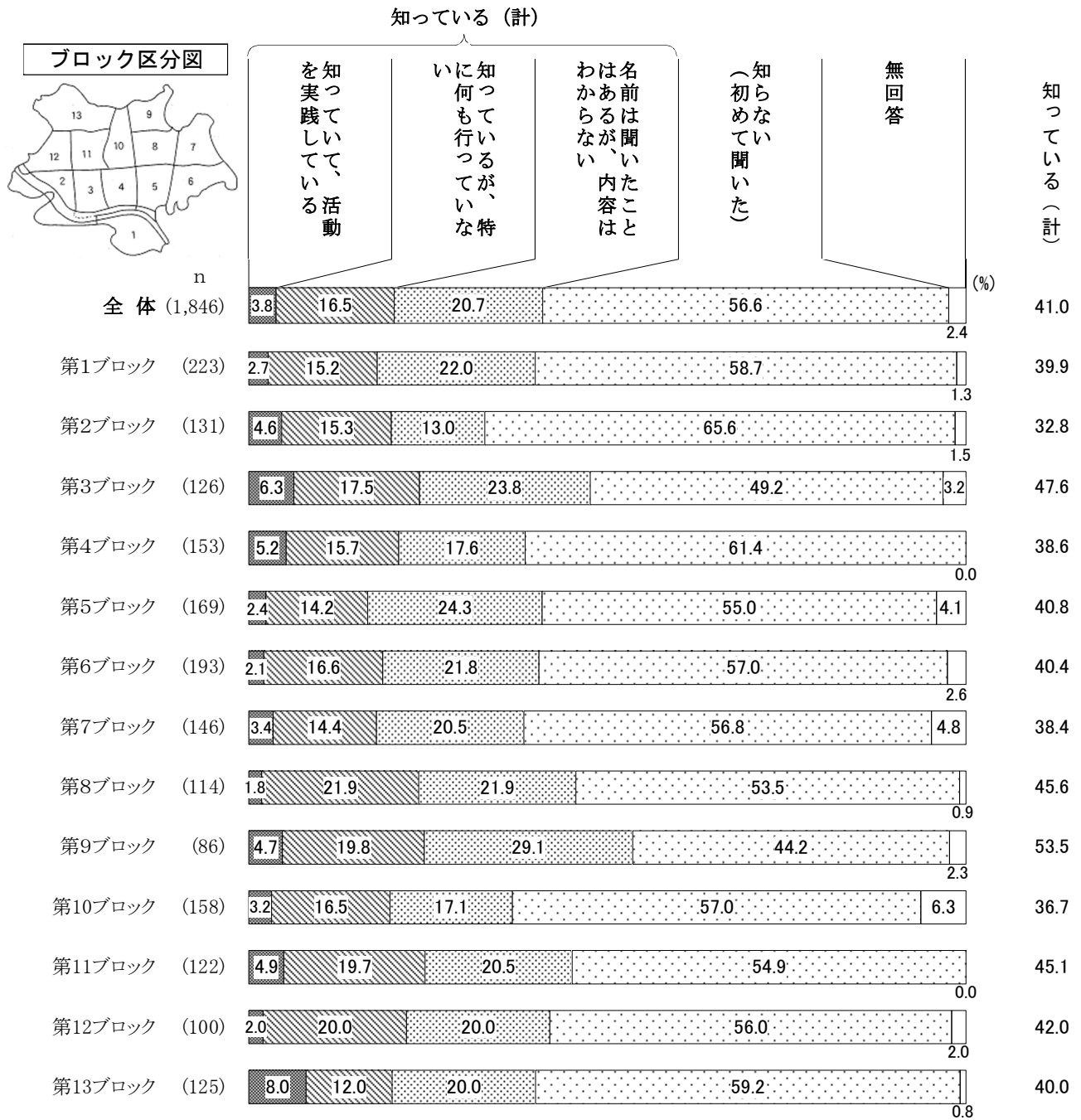
経年で見ると、【知っている】は、平成22年の26.8%から今回の41.0%まで、年々上昇していることがわかる。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、第9ブロックでは、【知っている】が53.5%を占めているほか、第3ブロック、第8ブロック、第11ブロックでも4割台半ばを超えて、やや高くなっている。

また、第13ブロックでは、「知っていて、活動を実践している」が8.0%と、全ブロック中最も高くなっている。

図5-1-2 地域ブロック別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

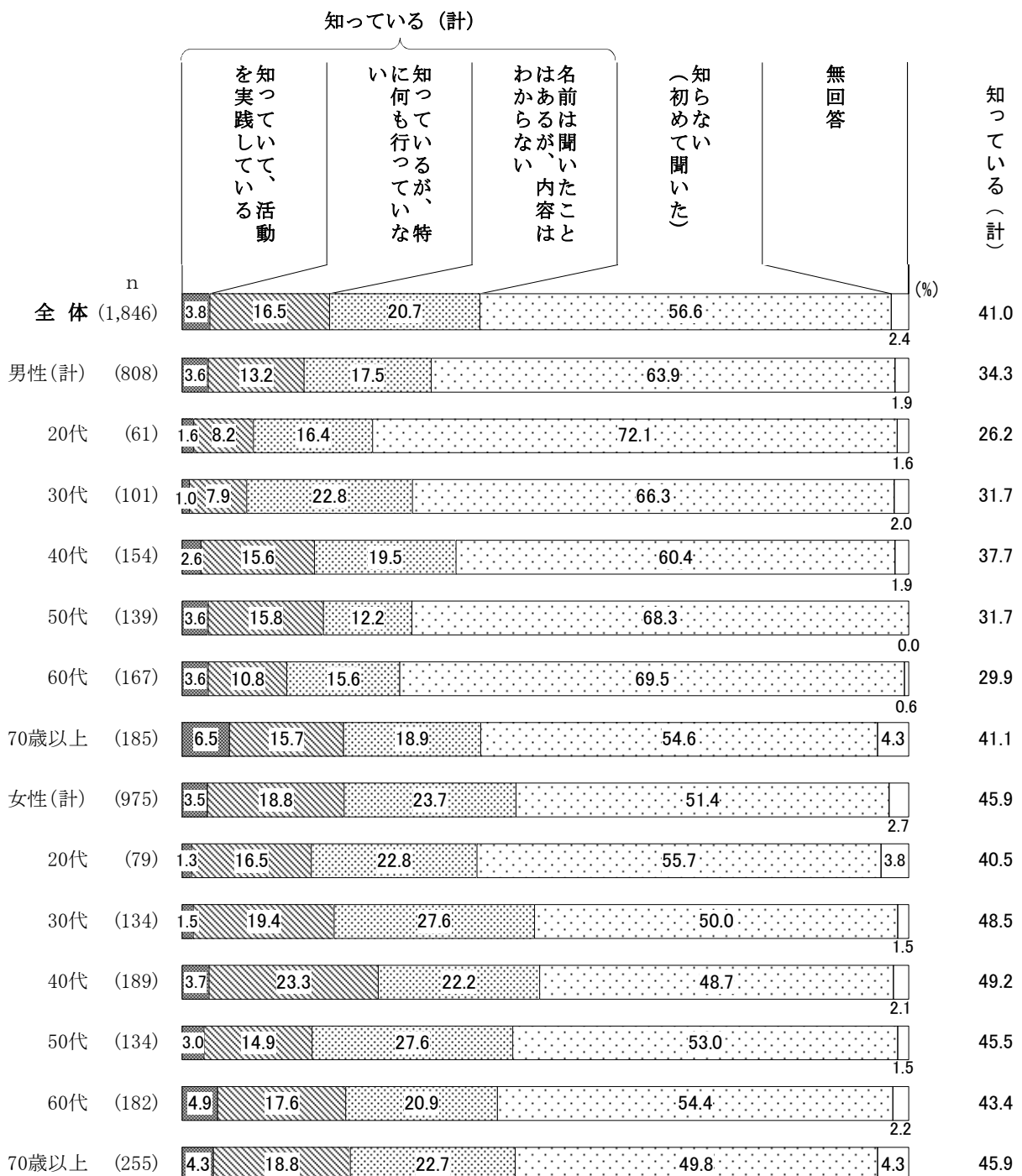


性別で見ると、【知っている】は男性34.3%、女性45.9%と、男性より女性が11.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、男性では、40代、70歳以上で【知っている】が、それぞれ37.7%、41.1%と、他の年代より高くなっている。70歳以上では、「知っていて、活動を実践している」が6.5%と高くなっている。

女性では、いずれの年代でも【知っている】が4割を超えている。60代、70歳以上では、「知っていて、活動を実践している」が、それぞれ4.9%、4.3%と、他の年代よりやや高くなっている。「知らない（初めて聞いた）」は20代男性で72.1%と最も高くなっている。

図5-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



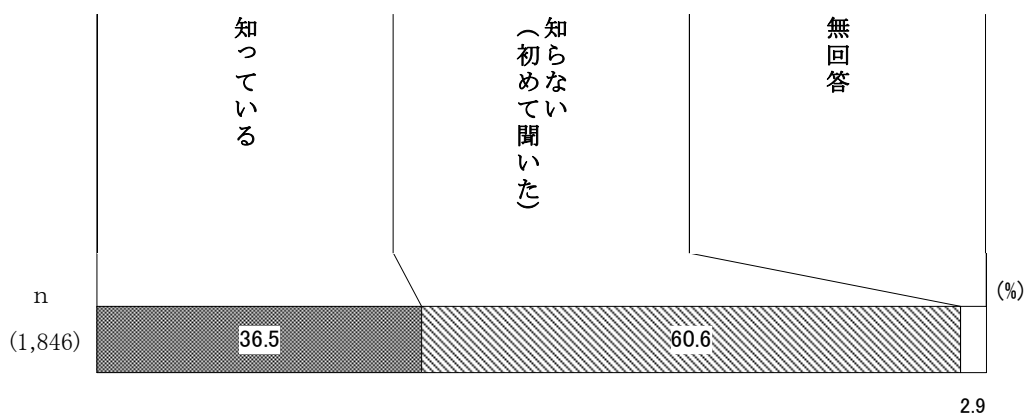
(2) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」は3割台半ば

問21 あなたは、平成25年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか。（○は1つだけ）

※ 警察が犯罪について、被害の届出等によりその発生を確認した件数。ただし、交通違反等を除きます。

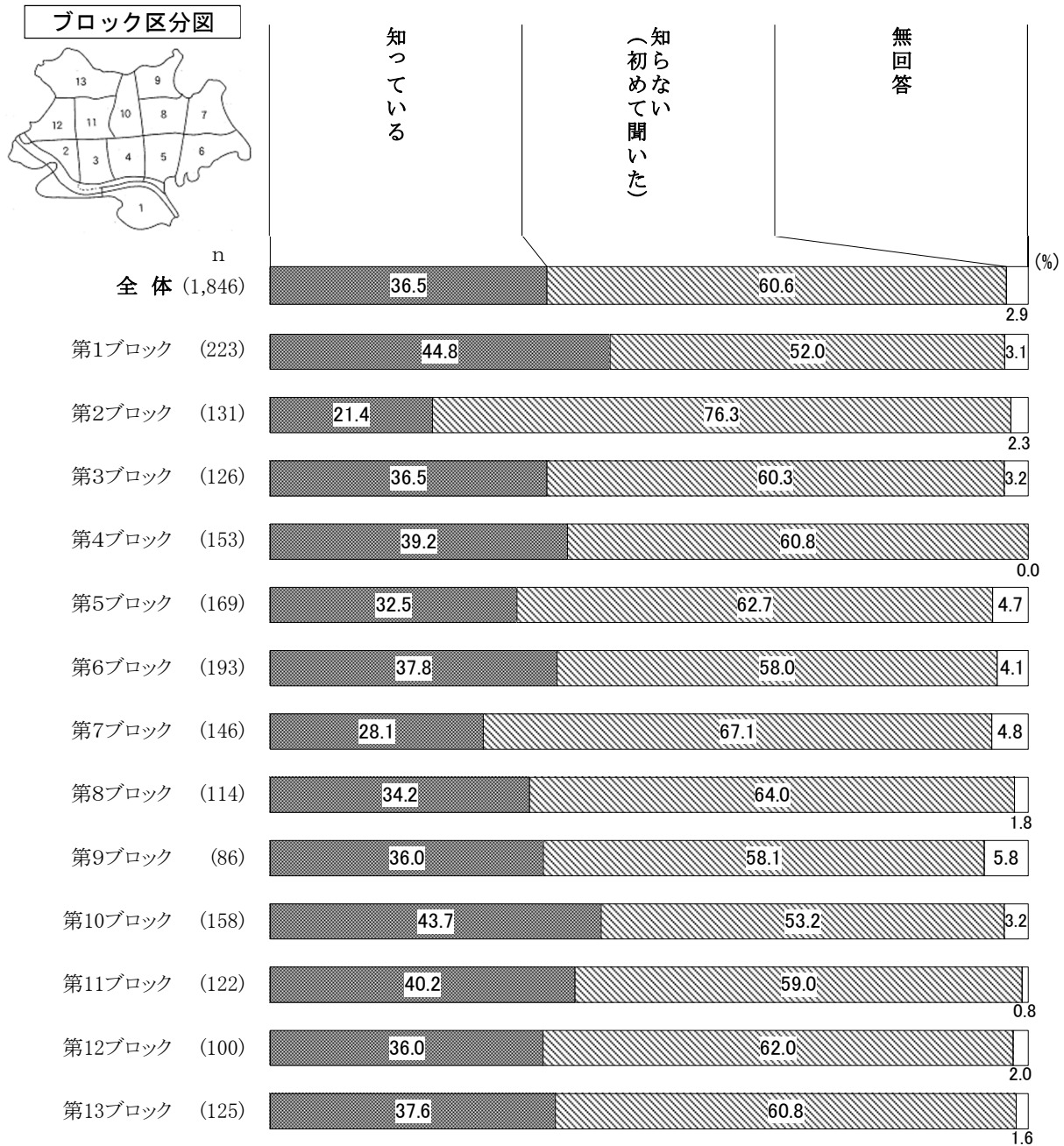
図5-2-1 治安が改善していることの認知



足立区内の治安が改善していることを「知っている」は36.5%である。一方、「知らない（初めて聞いた）」は60.6%となっている。

地域ブロック別で見ると、第1ブロック、第10ブロック、第11ブロックでは、「知っている」が、いずれも4割を超えて、他のブロックより高くなっている。一方、第2ブロックでは、「知っている」は21.4%と全ブロック中最も低くなっている。

図5-2-2 地域ブロック別／治安が改善していることの認知



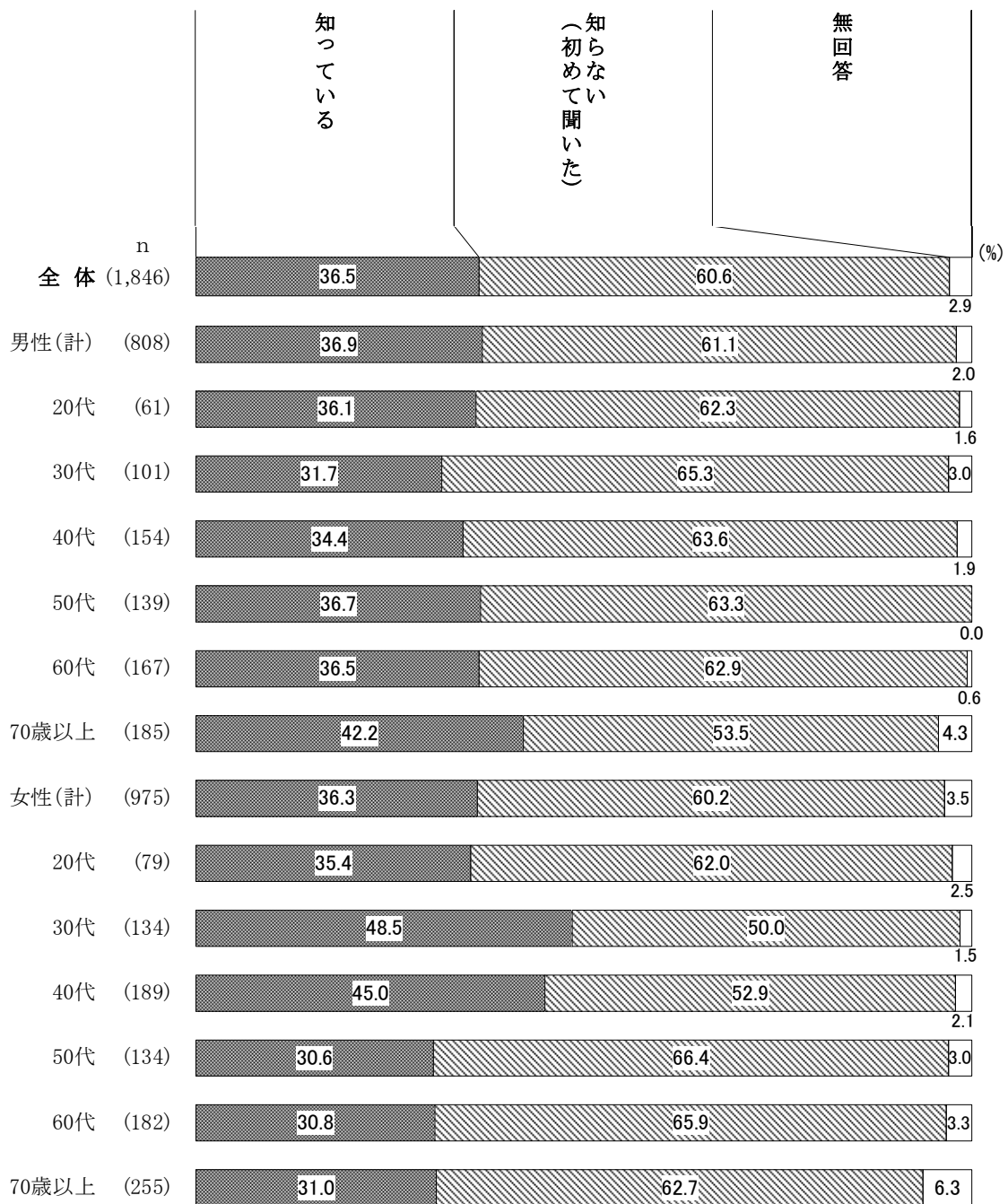
第3章 調査結果の分析

性別で見ると、「知っている」は男性36.9%、女性36.3%となっている。

性・年代別で見ると、男性では、70歳以上で「知っている」が42.2%と、他の年代より高くなっている。

女性では、30代で「知っている」が48.5%を占めているほか、40代でも45.0%を占めている。

図5-2-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



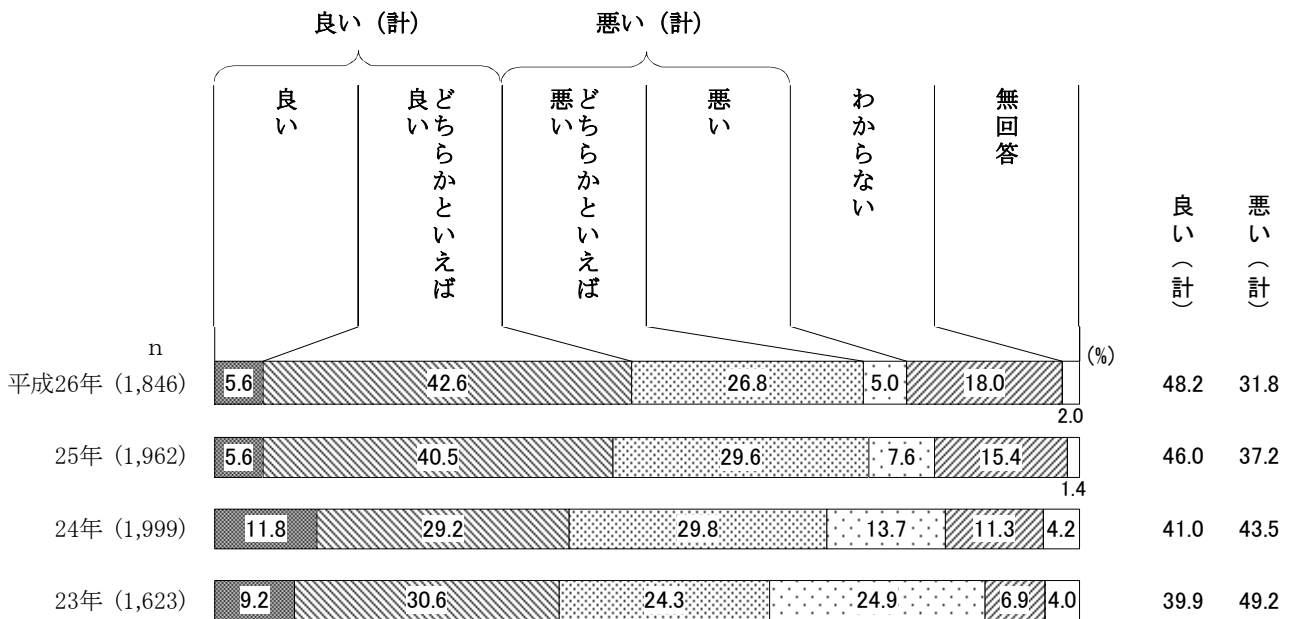
(3) 居住地域の治安状況

■ 【良い】は約半数となり、年々上昇している

問22 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか。
（○は1つだけ）

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図5-3-1 経年比較／居住地域の治安状況



住んでいる地域の治安について、「良い（そう思う）」が5.6%で、これに「どちらかといえば良い（ややそう思う）」の42.6%を合わせた【良い】は48.2%である。一方、「どちらかといえば悪い（あまりそう思わない）」(26.8%)と「悪い（そう思わない）」(5.0%)を合わせた【悪い】は31.8%となっている。

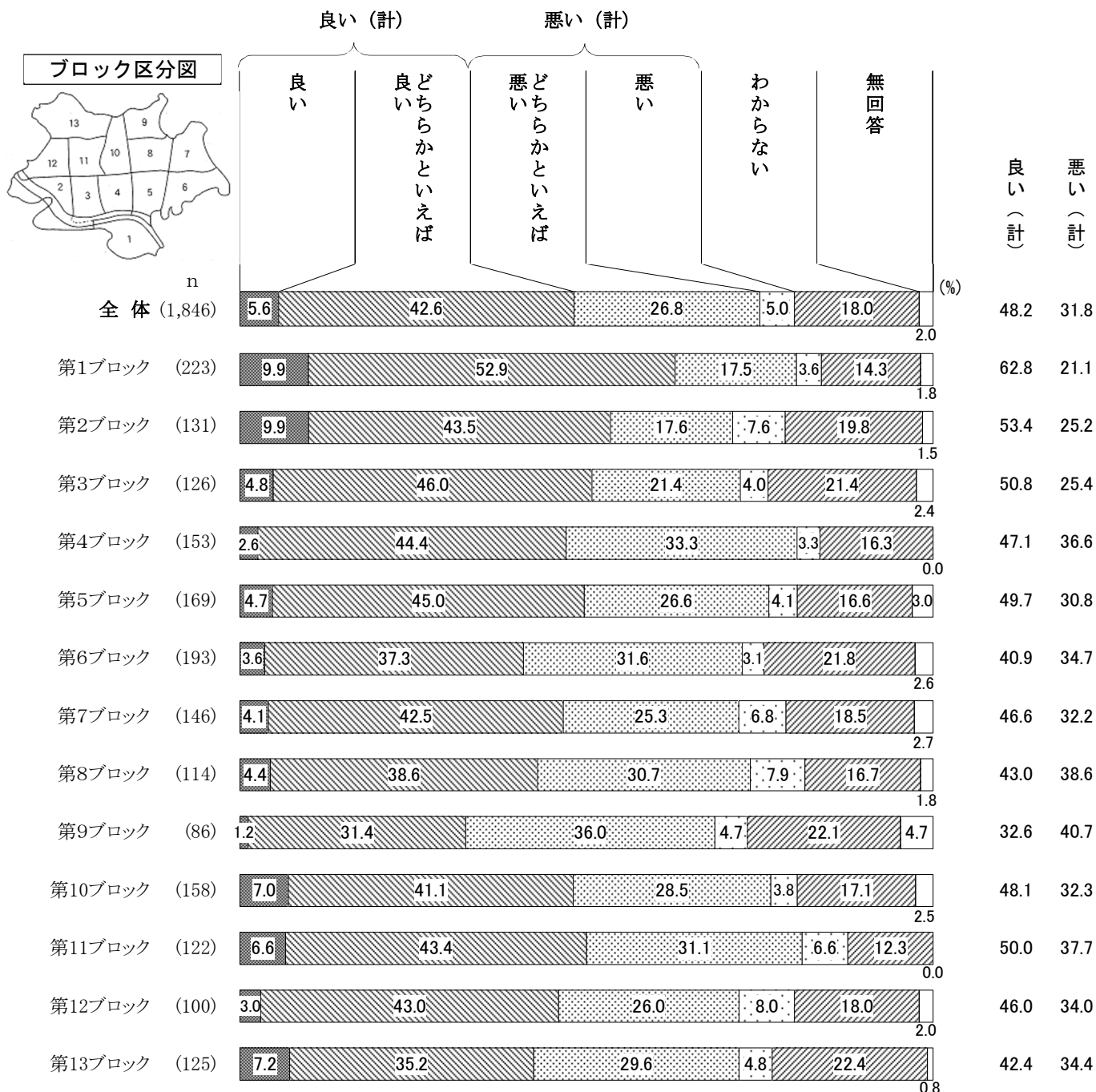
経年でみると、今回調査では【良い】が48.2%と、前回調査の46.0%より2.2ポイント増加している。一方、【悪い】は、前回調査の37.2%より5.4ポイント減少し、今回31.8%となっている。

治安状況については、平成23年から調査方法を変更したため、数値の単純な比較はできないが、前回調査に引き続いて、【良い】が【悪い】を上回っている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、【良い】は第1ブロックで62.8%と最も高く、以下第2ブロック(53.4%)、第3ブロック(50.8%)の順となっている。一方、第4ブロック、第8ブロック、第9ブロック、第11ブロックでは【悪い】が、いずれも3割台半ばを超えている。

図5-3-2 地域ブロック別／居住地域の治安状況

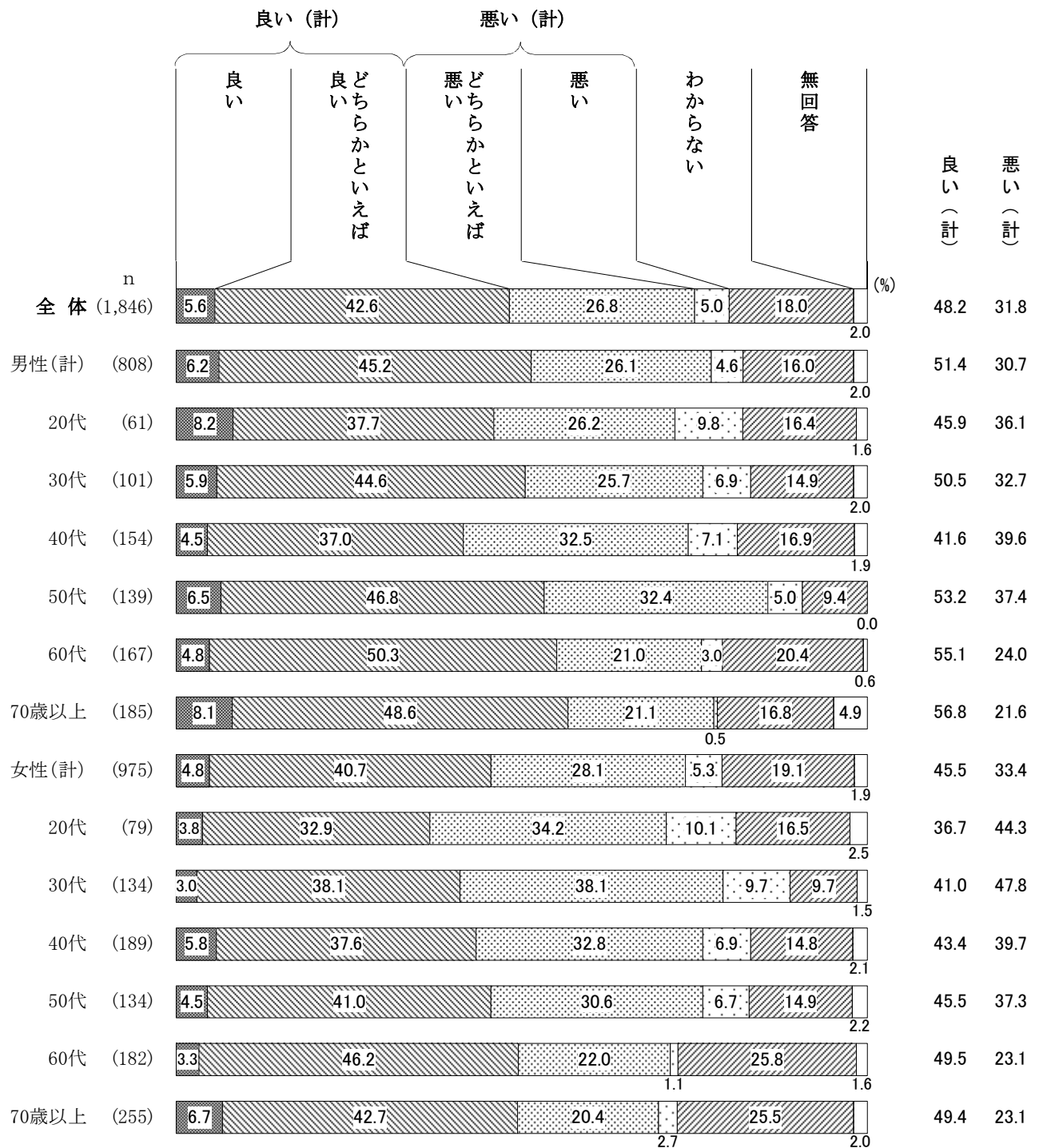


性別でみると、【良い】は男性51.4%、女性45.5%となっている。

性・年代別でみると、男性では、20代、40代を除くと、いずれの年代でも、【良い】との評価が5割を超えている。

女性では、20代、30代で【悪い】が、それぞれ44.3%、47.8%と4割以上を占めている。60代、70歳以上では、【良い】との評価が5割近くを占めている。

図5-3-3 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



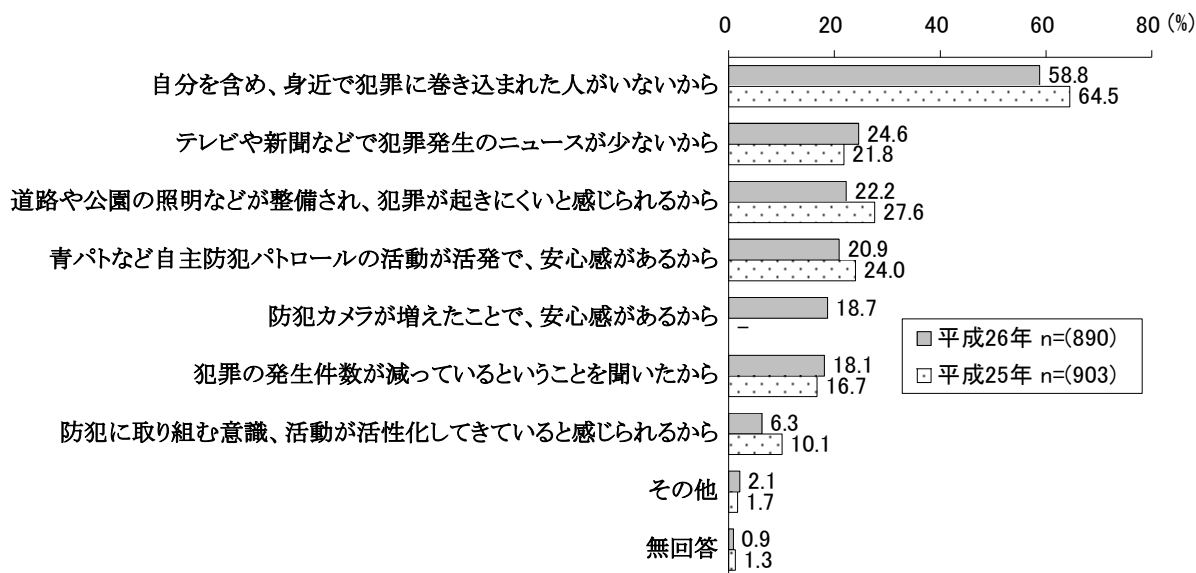
(4) 区内の治安が良いと感じる点

■ 特に多いのが“犯罪に巻き込まれた人がいないから”で、6割弱

問22で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に

問22-1 どのような点で治安が良いと感じますか。(〇は2つまで)

図5-4-1 前回調査比較/区内の治安が良いと感じる点



※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、今年度新設。

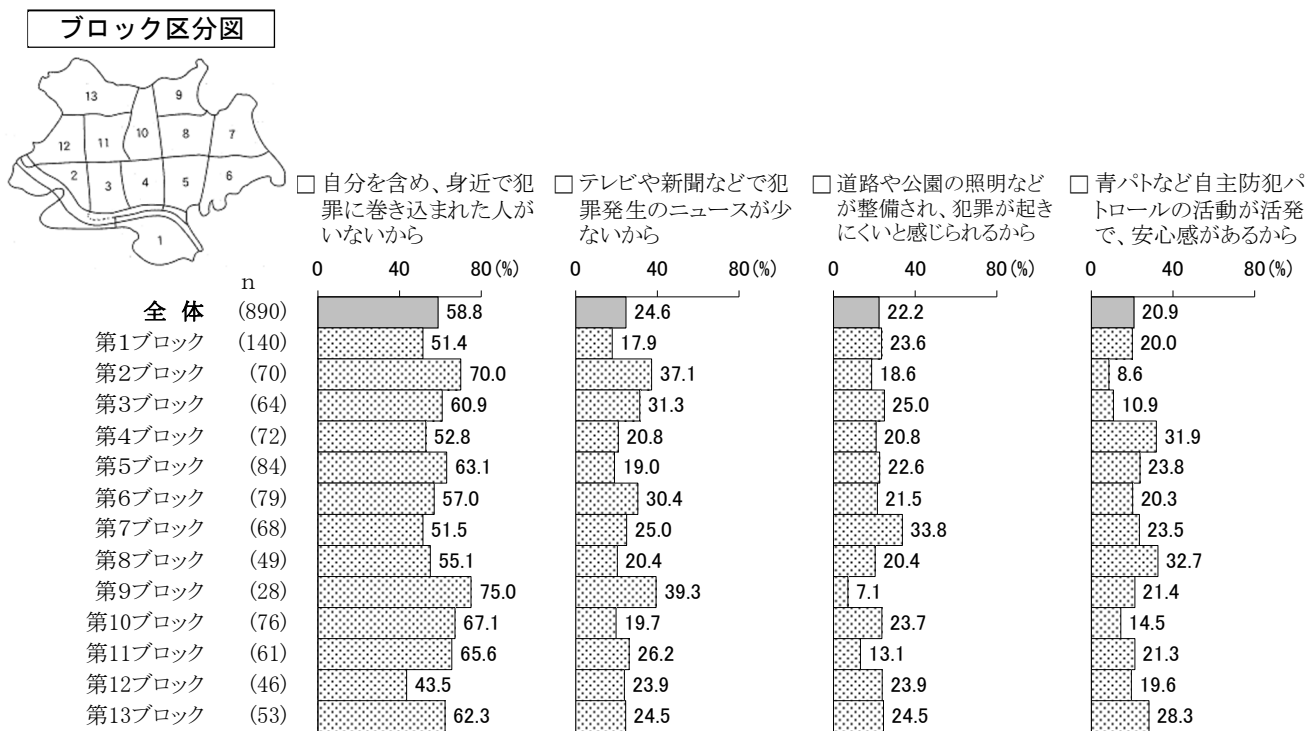
※「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」は、25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

【良い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が58.8%で最も高く、以下、「テレビや新聞などで犯罪発生ニュースが少ないから」(24.6%)、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」(22.2%)、「青パトなど自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」(20.9%)の順となっている。

前回結果と比較すると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が64.5%から58.8%と低くなっている。

地域ブロック別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は、第2ブロック、第9ブロックで、それぞれ70.0%、75.0%と高くなっている。また、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」は、第7ブロックで33.8%と最も高くなっている。「青パトなど自主防犯パトロール活動が活発で、安心感があるから」は、第4ブロック、第8ブロック、第13ブロックでは3割前後と、他のブロックより高くなっている。

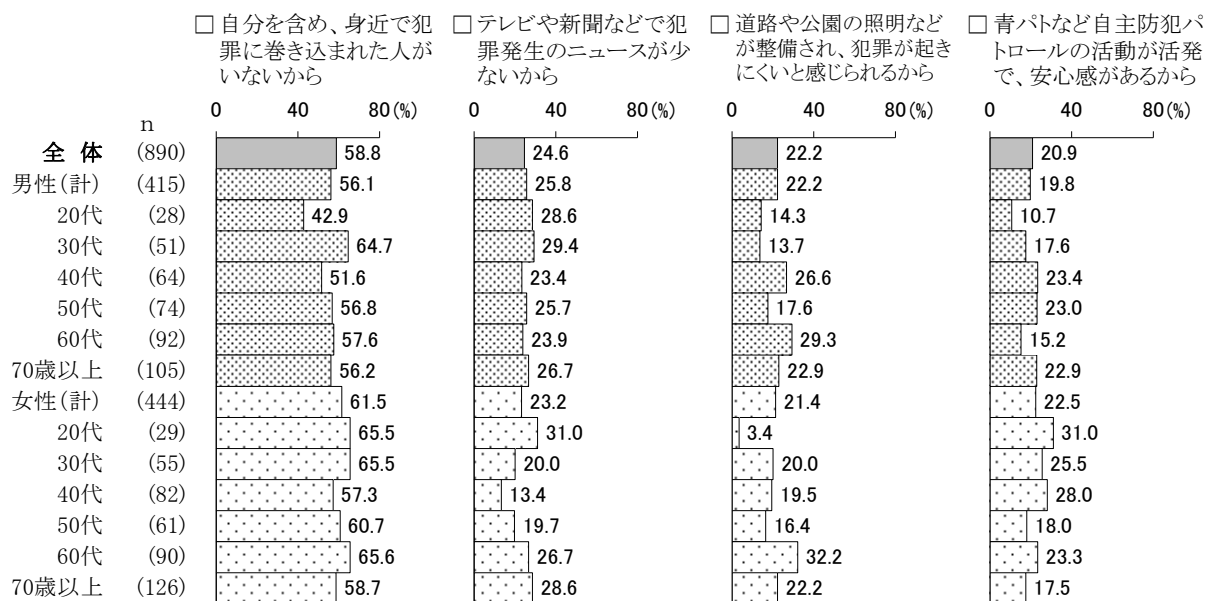
図5-4-2 地域ブロック別／区内の治安が良いと感じる点／上位4項目



性別でみると、特に大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は男性の30代、女性の20代、30代、60代で6割台半ばと高くなっている。

図5-4-3 性別、性・年代別／区内の治安が良いと感じる点／上位4項目

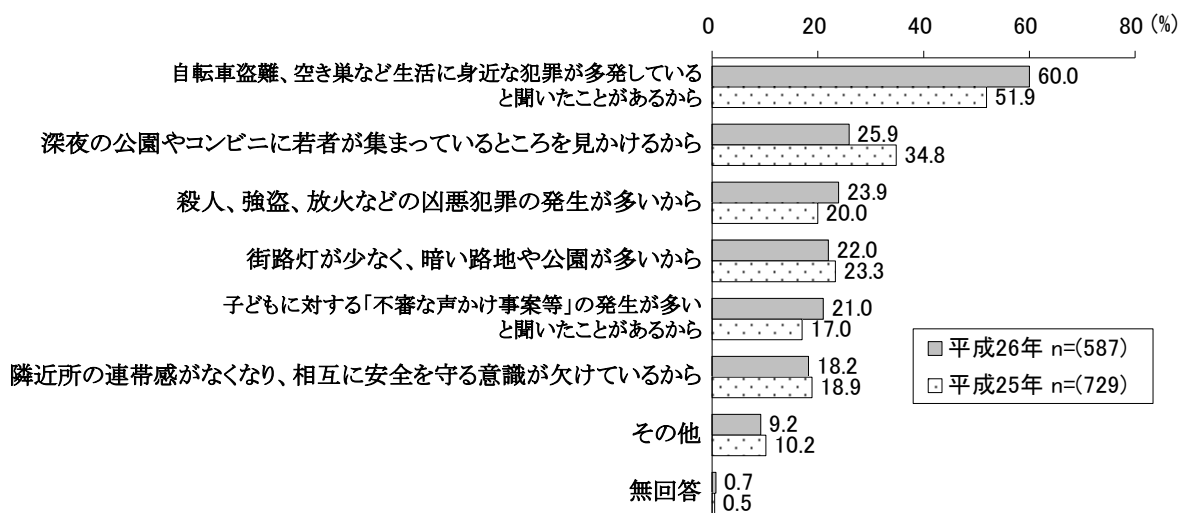


(5) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがある”が6割で突出

問22で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に
 問22-2 どのような点で治安が悪く感じますか。(〇は2つまで)

図5-5-1 前回調査比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。

※「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

【悪い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」が60.0%で最も高く、以下、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」(25.9%)、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」(23.9%)、「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」(22.0%)の順となっている。

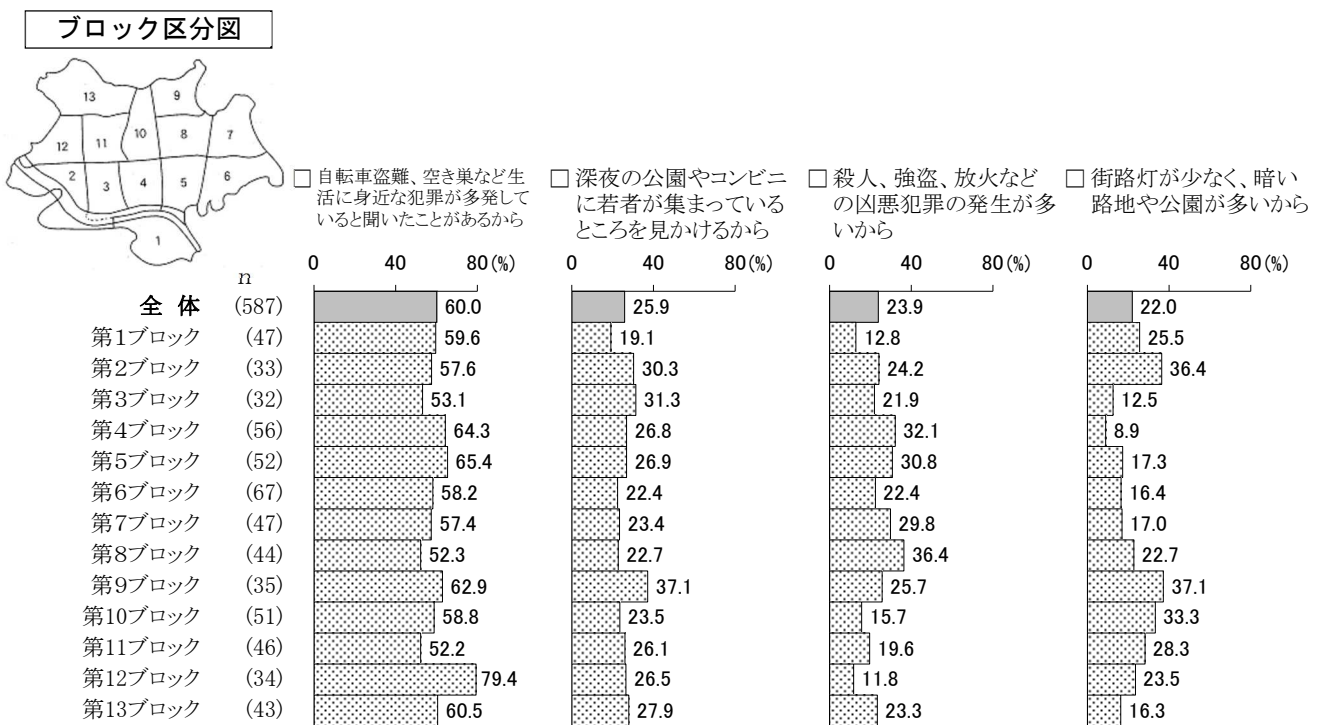
前回結果と比較すると、選択肢の表現を変えており参考に過ぎないが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は51.9%から60.0%と高く、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は34.8%から25.9%と低くなっている。

地域ブロック別で見ると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は、第12ブロックで79.4%と全ブロック中最も高くなっているほか、第4ブロック、第5ブロックでは6割台半ば前後と、他のブロックより高くなっている。

「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」については、第9ブロックで37.1%と最も高くなっているほか、第2ブロック、第3ブロックでも3割を超えている。

また、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」は、第4ブロック、第5ブロック、第8ブロックで3割を超えて、他のブロックより高くなっている。「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」については、第2ブロック、第9ブロック、第10ブロックで3割を超えて、他のブロックより高くなっている。

図5-5-2 地域ブロック別／区内の治安が悪いと感じる点／上位4項目



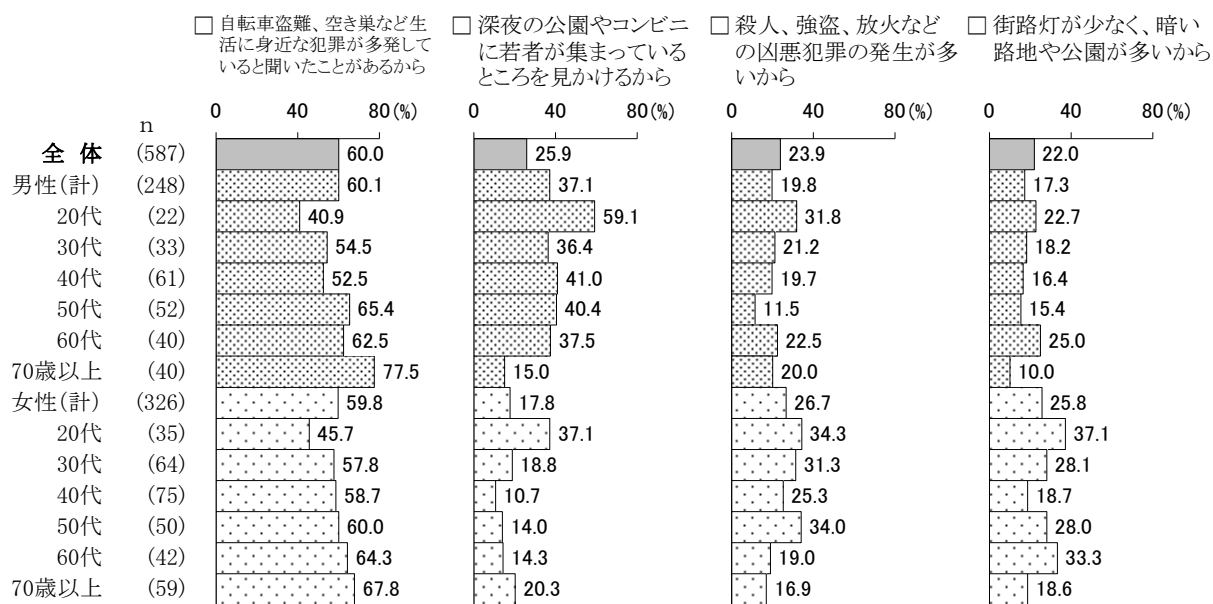
第3章 調査結果の分析

性別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」では、男性60.1%、女性59.8%となっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は、男女とも50代以上で6割を超えている。

また、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」については、男性の20代で59.1%となっており、全年代の中で最も高くなっている。

図5-5-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点／上位4項目

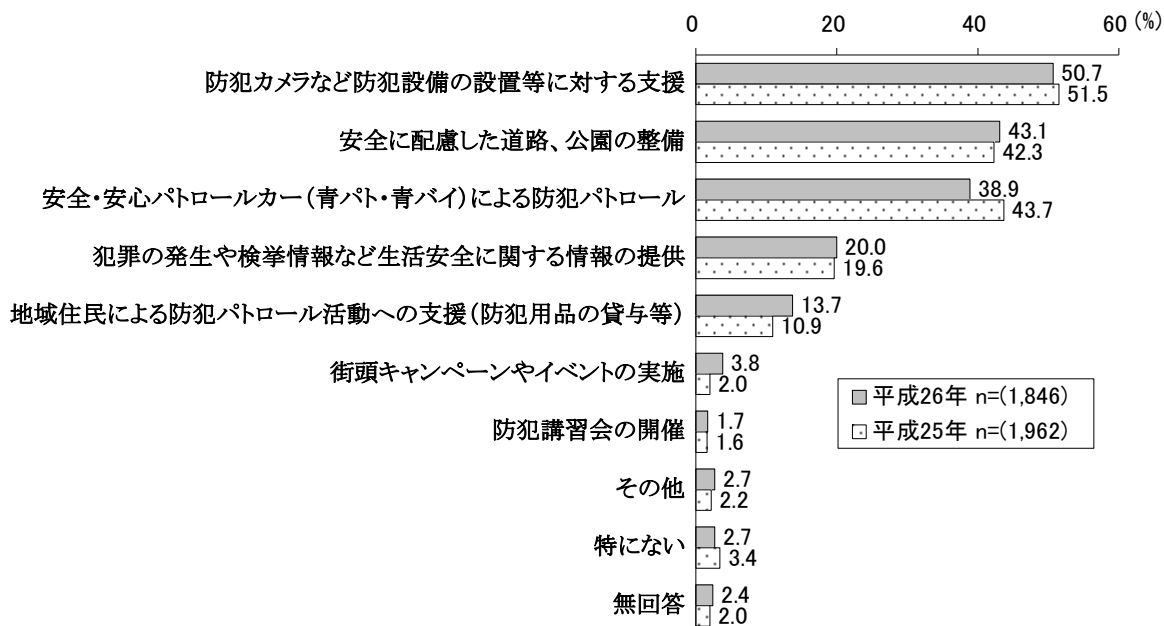


(6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■ “防犯設備の設置等に対する支援”が半数を超え、“安全に配慮した道路、公園の整備”が4割台

問23 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか。(〇は2つまで)

図5-6-1 前回調査比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと



治安対策として足立区に力を入れてほしいことは、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」が50.7%で最も高く、以下「安全に配慮した道路、公園の整備」(43.1%)、「安全・安心パトロールカー(青パト・青バイ)による防犯パトロール」(38.9%)の順となっている。

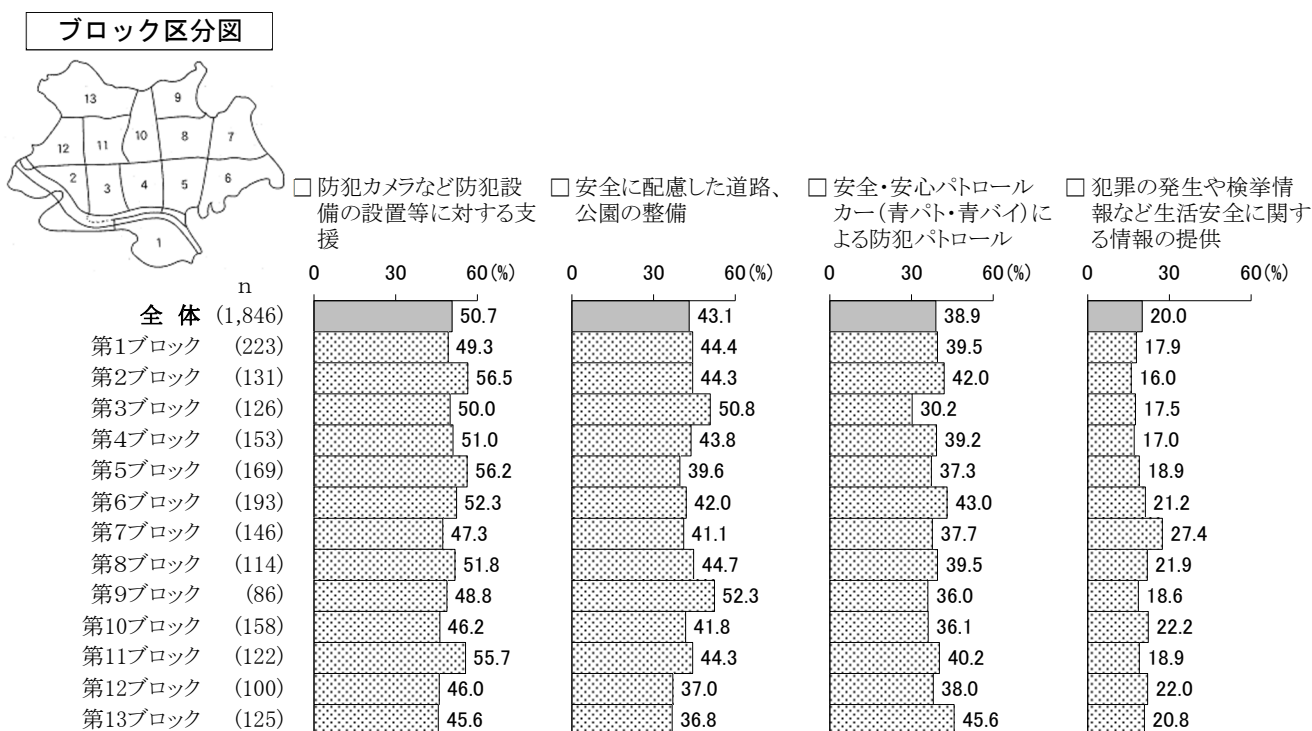
前回結果と比較すると、「安全・安心パトロールカー(青パト・青バイ)による防犯パトロール」が43.7%から38.9%と低くなっている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」は、第2ブロックで56.5%と最も高くなっているほか、第5ブロック、第11ブロックでも5割台半ばを超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、第3ブロック、第9ブロックで5割を超えて、他のブロックより高くなっている。

また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、第13ブロックで45.6%と最も高くなっているほか、第2ブロック、第6ブロック、第11ブロックでも4割を超えている。

図5-6-2 地域ブロック別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



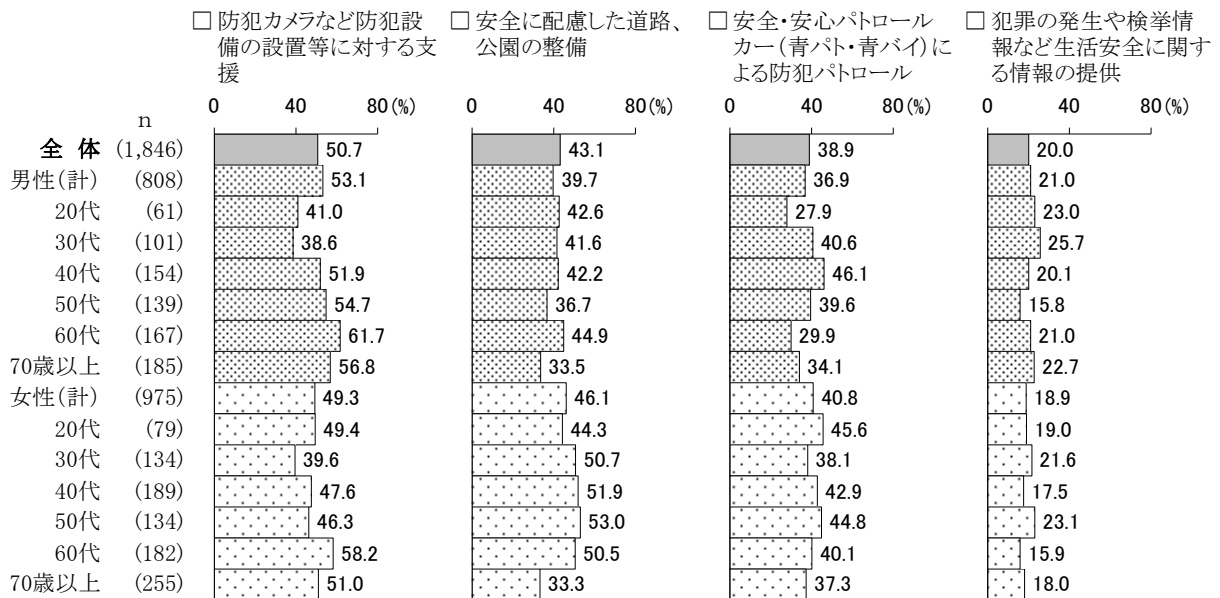
性別で見ると、「安全に配慮した道路、公園の整備」は男性39.7%、女性46.1%、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は男性36.9%、女性40.8%と、男性より女性が高くなっている。

性・年代別で見ると、男性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」は60代で61.7%と高くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、50代、70歳以上を除く、いずれの年代でも4割を超えている。

女性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置等に対する支援」が60代で58.2%と、他の年代より高くなっている。「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、20代、40代、50代、60代で4割を超えて高くなっている。

また、「安全に配慮した道路、公園の整備」は、30代から60代で5割を超えている。

図5-6-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目

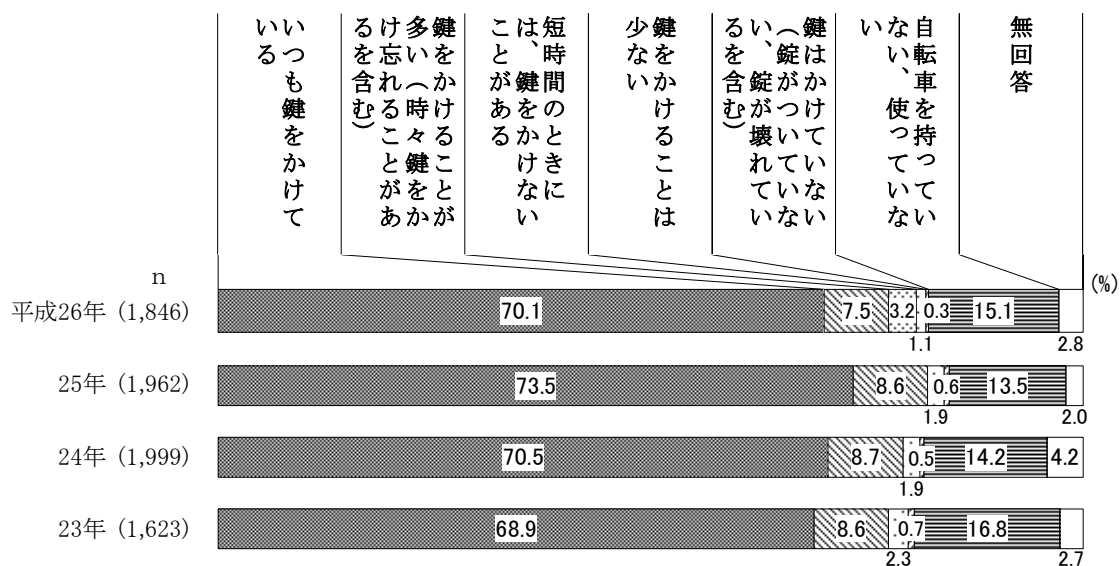


(7) 駐輪時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」が7割台を維持

問24 あなたは、自転車を駐車したときには、自転車に鍵をかけていますか。
 (○は1つだけ)

図5-7-1 経年比較/駐輪時の鍵かけ状況



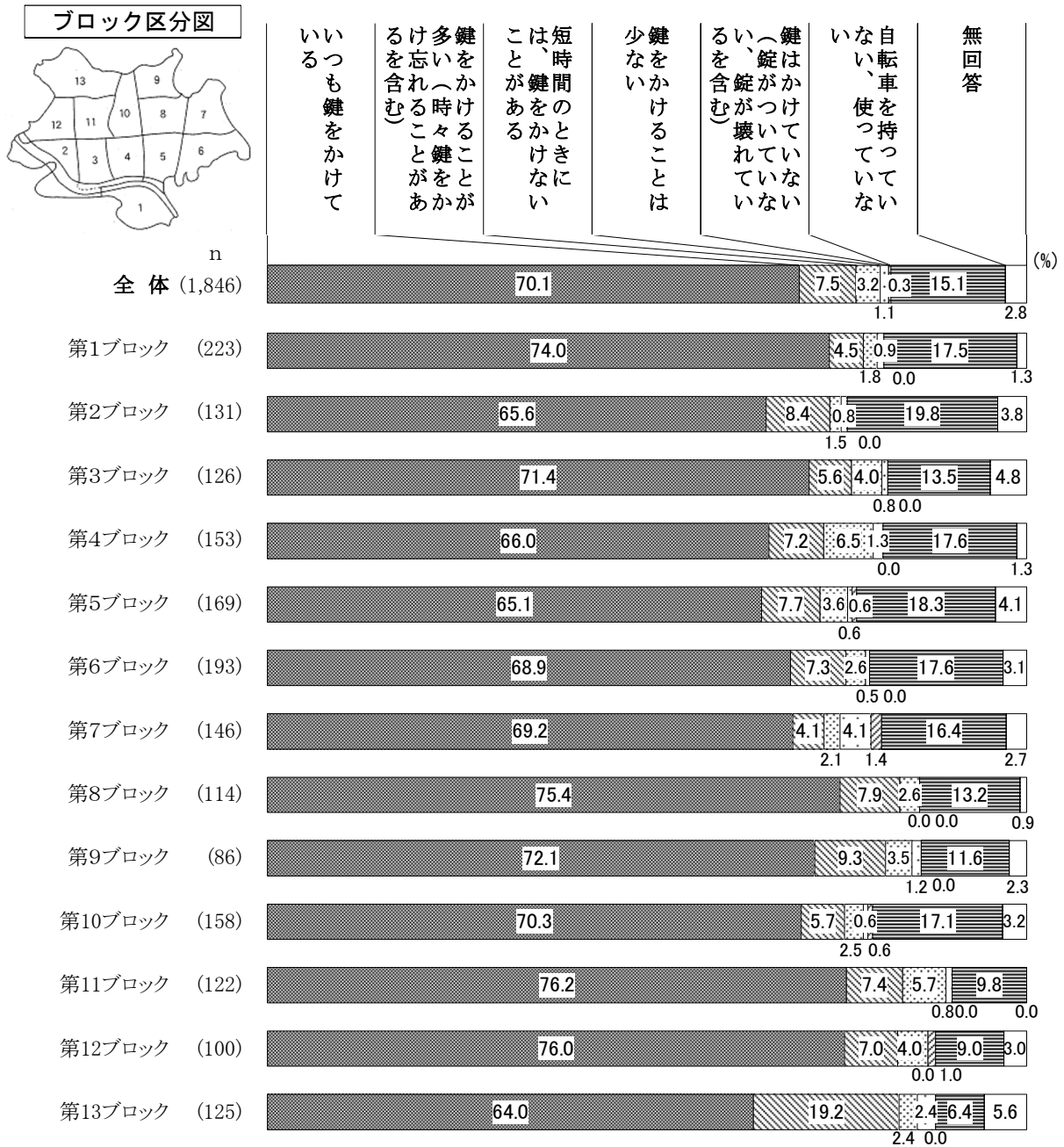
※「短時間のときは、鍵をかけないことがある」は、今年度新設。

自転車を駐車したとき、自転車に鍵をかけているかについては「いつも鍵をかけている」が70.1%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い(時々鍵をかけることがあるを含む)」(7.5%)となっている。一方、「短時間のときは、鍵をかけないことがある」は3.2%、「鍵をかけることは少ない」は1.1%、「鍵はかけていない(錠がついていない、錠が壊れているを含む)」は0.3%となっている。

経年でみると、「いつも鍵をかけている」は、今回は70.1%と、前回の73.5%から微減している。

地域ブロック別でみると、第13ブロックを除き、「いつも鍵をかけている」が6割台半ばを超えている。

図5-7-2 地域ブロック別/駐輪時の鍵かけ状況



第3章 調査結果の分析

性別で見ると、「いつも鍵をかけている」は男性73.3%、女性67.6%と、男性が女性より高くなっている。

性・年代別で見ると、70歳以上の女性を除くと、男女各年代とも「いつも鍵をかけている」が6割台半ば以上と高くなっている。

図5-7-3 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況

